

平成30年度 事業報告

I 事業の概要

1. 美術館開館事業

(1) 平成30年春季特別展 茶道具取合展「青を踏む」

期 間 平成30年3月10日～平成30年6月10日

(平成30年度開館日数 61日)

展示品 別紙展示目録の通り

(2) 平成30年秋季特別展 茶道具取合展「五色の秋」

期 間 平成30年9月8日～平成30年12月2日 (開館日数 75日)

展示品 別紙展示目録の通り

(3) 2019年春季特別展 茶道具取合展「慶年の茶」

期 間 平成31年3月9日～令和元年6月9日

(平成30年度開館日数 19日)

展示品 別紙展示目録の通り

(4) 入館者数、入館料収入

展示名	開館日数	入館者数							入館料収入
		一般	学生	団体			身障者 他	合計	
				一般	同門会	学生			
				¥600	¥400	¥500			
青を踏む	61	769	34	770	106	4	52	1,735	908,900
五色の秋	75	757	91	987	247	0	61	2,143	1,095,250
慶年の茶	19	269	17	26	44	0	7	363	201,000
平成30年度	155	1,795	142	1,783	397	4	120	4,241	2,205,150
(参考)29年度	155	2,135	120	1,866	397	6	114	4,638	2,442,450
28年度	151	2,038	137	1,780	571	85	102	4,713	2,450,050
27年度	154	2,198	105	1,976	513	79	94	4,965	2,603,350

注 同門会は表千家同門会会員

2. 四君子苑開苑事業

(1) 公開事業

公開日			
月	日	相手先	日数
4月	14日	特別公開(1団体)	7
	17日～22日	一般公開	
5月	22日 1人1,000円	特別公開(1団体)	1
9月	22日	特別公開(1団体)	1
10月	13日	特別公開(3団体)	10
	14日	特別公開(2団体)	
	16日～21日	一般公開	
	25日	特別公開(1団体)	
	28日	特別公開(2団体)	
平成31年3月	5日 1人800円	特別公開(1団体)	1
合計			20

(2) 入苑者数、入苑料収入

公開年度	開苑日数	入苑者数			入苑料収入
		一般	その他	合計	
		¥1,500	—		
		*5月22日:1,000円 3月5日:800円			
平成30年度	20	1,544	30	1,574	2,275,600
29年度	14	1,368	21	1,389	2,052,000
28年度	12	1,355	65	1,420	2,032,500
27年度	15	1,626	61	1,687	2,439,000

3. 四君子苑貸出事業

該当無し

4. 館外展示事業(お茶会)

館外展示茶会名	期間	場所
---------	----	----

5. 館外展示事業(貸出)

展示会名	貸出美術品	展示期間	展示場所
金沢美術倶楽部100周年 記念事業「美の力」展	仁清:色絵鱗波文茶碗	平成30年4月24日 ～ 平成30年5月20日	石川県立美術館
没後200年松平不昧展	重文 兀庵普寧墨蹟 東巖慧安宛 高台寺棗 余三作	平成30年4月21日 ～ 平成30年6月17日	三井記念美術館
	片輪車蒔絵 螺鈿香合 他 3点	平成30年9月21日 ～ 平成30年11月4日	島根県立美術館
200年祭 松平不昧公展	重文 運峰妙高墨跡	平成30年10月6日 ～ 平成30年11月11日	田部美術館
近代の茶杓百選	茶杓 5品 千利休作 銘「タイへ様参」 高原杓庵作 銘「妹背山」 水谷川紫山作 銘「春日山」 北村謹次郎 銘「かりがね」 中川一政 銘「八十三」	平成30年10月20日 ～ 平成30年12月2日	MIHOミュージアム
没後200年松平不昧 —茶と人となり—	瀬戸金華山手肩衝茶入 銘 広沢 箱遠州付 不昧書状 龍橋宛	平成30年10月13日 ～ 平成30年11月25日	出雲文化伝承館
	お好み 大菊棗 羊遊斎作		
	小倉山蒔絵硯箱 胡民作 伊川院下絵		
新・桃山の茶陶	織部松皮菱形手鉢	平成30年10月20日 ～ 平成30年12月16日	根津美術館
開館40周年 秋季特別展 「光悦考」	本阿弥光悦作 黒樂茶碗 銘 東	平成30年9月2日 ～ 平成30年12月9日	樂美術館

6. 撮影掲載料(掲載)収入について

依頼先	雑誌・書籍名等	撮影掲載する館蔵品名
新建新聞社 「和風住宅」編集部	「和風住宅」(Vol.23)	四君子苑旧 北村邸 (吉田五十八 建築)
中央公論新社	「加賀開港始末」(H26.1.22 貸出)の電子書籍化に伴い、再使用の依頼	蕪村筆 鳶鴉図のうち、「鴉図」
淡交社	『茶道教養講座⑨ 中国朝鮮の陶磁器』	御本立鶴茶碗 銘 池水
イースト・エンタテインメント	BS朝日「京都ぶらり歴史探訪」で放映される「織田信長と京都」において、信長の道具狩りを逃れた逸品として、紹介されるもの	雲鶴手 疋田筒茶碗
(株)小学館 サライ編集担当	月刊誌『サライ』10月号「京都特集」の中の「京都の私設美術館めぐり」に紹介	美術館外観&四君子苑表門 創設者北村謹次郎画像 秋の展示品 4点
淡交社	月刊誌「なごみ」の連載企画「松平不昧研究」(H30/1-12)のうち、10月号(テーマ“谷松屋戸田商店”)にて、取り上げるもの。	清巖宗渭作茶杓 銘 見色明心
(株)日貿出版社	構図入門の中の「私の好きな名品」	与謝蕪村「鴉図」
淡交社	『茶道具の名工・作家名鑑』	原羊遊斎造 大菊棗 光悦造 黒茶碗 銘 東
(株)ネクサス	テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」(9月25日放送)で、依頼品「野々村仁清の茶壺」の鑑定に際し、仁清の代表作として紹介	重文 仁清色絵鱗波文茶碗
(株)花神社	山田洋遺句集『一草』(H30.11月 刊行)のカバーに使用のため	俵屋宗達画、本阿弥光悦筆 「月に秋草古今和歌集色絵」
(株)あいぼっくす	中学校用美術科副読本『時代別美術鑑賞』	鳶鴉図
主婦の友社	重版『やきものの見方・楽しみ方』	重文 織部松皮菱形手鉢 乾山 槍梅香合
月刊陶芸(韓国)	「茶碗と日本人」(飛鳥新社、2016.12月刊)の翻訳本に、使用する。	重文 織部松皮菱形手鉢
(株)マガジンハウス	Casa BURUTUS 「茶の湯とデザインの基礎知識」	重文 仁清色絵鱗波文茶碗
淡交社	淡交新書 名物茶入の履歴書に掲載	瀬戸金華山茶入 銘 広沢
淡交社東京編集部 なごみ編集部	月刊誌『なごみ』2019年1月号	御本立鶴茶碗 銘 池水
NPO法基陶磁 (韓国、梁山市)	H30.11.30 開催予定の「2018年 法基窯地 国際学術シンポジウム」に、資料として使用	金海猫搔手 茂三茶碗
(株)セブンオークス・パブリッシング	CCCメディアハウス発行の『Pen』「ひとり、京都」(2019年2月末に刊行)	本阿弥光悦 黒樂茶碗 東
淡交社東京編集部	淡交別冊 No.75(2019年4月 発行) 「唐物のありよう in 茶道史」に使用	喜寿の茶事 本席点前坐写真 —「京・四季の茶事」(P.58)—
(株)日貿出版社	平成28年に出版した『墨技の発見 「白」の表現』の中国語(簡体字)での翻訳出版	与謝蕪村「鳶鴉図双幅」
ロンドン三輪精舎	5-7-5 The haiku of Buson (与謝蕪村俳句の英訳書)の挿絵として	与謝蕪村「鳶鴉図双幅」
淡交社	淡交ムック 入門した人、したい人のための「茶道」BOOK	重文 仁清色絵鱗波文茶碗
(株)アタック「てんとう虫/express」編集部	UC/セゾンカードの会員誌「てんとう虫」(4月号)の特集「魯山人の流儀」に掲載	魯山人 絵瀬戸草虫文壺 外観写真
(株)山川出版社	『図説 歴史散歩事典(改訂版)』仮称に掲載(2019/6 刊行)	宝篋印塔

7. 撮影掲載料(撮影)収入について

依頼先	撮影目的	出版物 または、放送内容	撮影掲載する館蔵品名
淡交社 「なごみ」編集部	「茶杓の見どころ 鑑賞のための入り口」で紹介	「なごみ」(9月号)	茶杓 3点 タ、イへ様参 他
著者 烏賀陽 百合 発行元 誠文堂新光社 編集スタッフ山本貴也 カメラマン 三宅徹	1つの庭園を8ページで紹介する構成で、紹介する庭は高台寺・青蓮院他全部で18庭園	しかげにときめく『京都名庭園』に掲載	四君子苑 (庭を中心)
「工芸 青花」(新潮社)	「工芸 青花」(11号)の特集「山茶碗」に掲載のため		山茶碗 2点 河瀬無窮亭箱書 行基焼 (四君子苑 仏間 他にて)
(株)放送映画製作所	NHKワールド2017年 3月2日放送(英語版) の2次使用	BS1 「Core Kyoto ～北山杉～」 の日本語版	四君子苑内の北山杉 立礼の間の床柱 看大の間の床柱
合同会社レノズ	「美の壺 利休に見せたい! 京の茶碗」 の番組で放送する		仁清 色絵鱗波文茶碗 (四君子苑母屋日本間にて)